

まちかど

身近な情報を広報へ

災害に備えて

災害対策研修会 7/31

中央公民館で、区長、地域安全女性推進委員、役場の災害地区調査員を対象とした災害対策研修会を開催しました。研修会では、名古屋地方気象台の紅林 巨 氏を講師に招き、「防災気象情報の活用」と題してご講話をいただき、防災気象情報の活用方法、自然災害に向き合う姿勢について学びました。近年多発している台風などの自然災害による被害を最小限にするため、今後も地域住民の皆さんを対象とした研修会などを実施していきます。



▲講師の紅林氏



▲講演を聞く参加者

姉妹そろって全国優勝！

女子相撲 全国大会優勝報告 8/1

岡崎東高等学校1年生の柴田歩乃佳さん（北部中学校出身）が、第19回全国選抜女子相撲大会の軽量級で優勝、その妹で北部中学校2年生の柴田真歩さんが第9回全日本女子相撲郡上大会の超軽量級（中学生の部）で優勝し、町長へ姉妹そろってその報告に訪れました。全国大会を振り返って、姉の歩乃佳さんは「大学生相手に苦戦し長い試合になったが、自分の相撲をしよう」と心掛けた。将来は世界大会の代表を目指したい、妹の真歩さんは「とにかくどんな相手にも勝ちに行くという気持ちで臨んだ。今後の全日本大会でも優勝を目指したい」とそれぞれ話してくれました。



▲左から柴田歩乃佳さん、真歩さん

空き家を有効活用！

空き家等の対策に関する協定締結式 8/2

増加する空き家等に関する対策について関係2団体と協定を締結しました。不動産仲介の専門団体である公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会とは、主に空き家の相談や調査などの窓口として空き家の利活用促進に向けて連携を図っていくことになりました。幸田町シルバー人材センターとは、主に空き家の管理についてご協力いただけることになりました。

具体的な内容などについては、町ホームページにも情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲協定締結の様子

全国制覇へアタック！

第38回全日本バレーボール小学生大会 出場報告 **8/2**

坂崎小学校5年生の辻淳志くんが所属する、バレーボールのクラブチームである愛知六南クラブが、第38回全日本バレーボール小学生大会への出場を決め、辻くんが町長へその報告に訪れました。同大会の愛知県大会では準決勝、決勝共に1セットも取られることなく優勝を果たしました。全国大会へ向けて「チームとしては全国制覇を目標に、個人としてはアタックをたくさん決めることを目標に頑張りたい」と抱負を話してくれました。



▲全国大会への出場を決めた辻くん

雨にも負けず走り続ける

ル・マンファイブ 24時間耐久 ダンロップゲームズ **8/14、15**

幸田サーキットYRP桐山で、レンタルカートによるレース「ル・マンファイブ 24時間耐久 ダンロップゲームズ」が開催されました。このレースは日本国内と韓国から37チーム、417人が参加しました。このレースは1チーム6～15人のメンバーが交代しながら24時間先のチェッカーを目指すものです。当日は雨が降り一時中断することもありましたが、全チーム雨にも負けず、見事完走しました。



▲熱い戦いが繰り広げられました



▲表彰式の様子

全国優勝を射抜け！

第15回全国中学生弓道大会 出場報告 **8/15**

北部中学校3年生の谷口輝くんが、第15回全国中学生弓道大会への出場を決め、町長へその報告に訪れました。同大会の愛知県予選会では、8射7中し、外した選手から脱落していく「射詰」で4本連続での中し優勝を果たしました。それまでの練習について「毎日課題を持ってひたすら練習をし、また、全国大会へ向けて、1本1本を大切に、自分の射形に自信を持って優勝目指して頑張りたい」と話してくれました。



▲全国大会へ出場が決まった谷口くん

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujo@town.kotaj.g.jp

まちかど

お祭りイベントで大盛況！

第21回こうた夏まつり 8/18

ハッピーネス・ヒル・幸田で第21回こうた夏まつりが開催されました。隣接する光明寺川では魚を捕まえるポンツク大会が行われ、ステージではダンスや太鼓の演奏が披露されました。中でも幸戦隊コウタレンジャーショーはその日一番の盛り上がりを見せ、子どもから大人まで夢中になっていました。また、町内3中学校から56人の運営ボランティアが集まり、会場の各所で活躍する姿が見られました。終盤に近づくときやぐらを囲んで町民総踊りが始まり、最後は夜空を彩る花火で締めくくられました。祭りには約30,000人が訪れ、来場者は幸田の夏の祭典を楽しみました。



①ポンツク大会②ステージダンスの披露③和太鼓の演奏④ステージイベントを見て盛り上がる観客
⑤幸戦隊コウタレンジャーショー⑥中学生運営ボランティア⑦町民総踊り

楽しく、元気に、笑顔でプレー

第23回全日本レディースソフトボール大会 出場報告 8/22

幸田中学校出身の井上侑美さん、川口祐里奈さん、林優美さんが所属する女子ソフトボールクラブチーム「年中夢球」が、第23回全日本レディースソフトボール大会への出場を決め、町長へその報告に訪れました。いつも楽しく元気に笑顔でプレーし、守備力に一番自信があるというこのチーム。全国大会へ向けて、井上さんは「どんなチームにも元気の良さで負けないようにプレーしたい」と話してくれました。



▲左から川口さん、井上さん、林さん

身近な情報を広報へ

からくりで表現できました

第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト地区大会 **8/26**

中央公民館で、第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト地区大会が開催されました。からくりを搭載した動力車と山車で構成される「からくりパフォーマンスカー」のプレゼンをし、決められたコースを時間内に走り切れるかを競いました。岡崎市と幸田町の少年少女発明クラブに所属する小学4年生から中学1年生の5チーム、計13人が競技に参加しました。優勝は幸田町から参加した「星河」（深溝小学校5年生の渡邊大雅くんと村田泰誠くん）で、オオムラサキ（チョウ）の成長過程を表現した作品を披露しました。



▲プレゼンの様子



▲山車を動かしてゴールを目指せ！

災害対策は日ごろの備えから！ 幸田町総合防災訓練 **9/1**

巨大地震の発生に備え、幸田町総合防災訓練が行われ、役場、警察署、自衛隊、消防団、自主防災会、地元企業、女性消防クラブなどの54機関、約700人が参加しました。いつ起きてもおかしくない南海トラフ巨大地震を想定し、参加者全員で行うシェイクアウト訓練を始め、災害救助犬検索・倒壊家屋救出救助訓練、LPガス・油火災訓練、緊急物資輸送訓練、炊き出し訓練などさまざまな訓練が実施されました。

災害による被害は日ごろの備えによって減らすことができます。非常持出品の準備や家具固定を心掛けましょう。また、7日間以上の食料や飲料水を備蓄しておくことが大切です。自助（自らで守る）や共助（地域での助け合い）による連携が減災には不可欠な取り組みとなります。一人一人が災害に対する意識を高めるようにしましょう。



▲シェイクアウト訓練



▲災害救助犬検索・倒壊家屋救出救助訓練



▲自衛隊災害派遣要請情報収集訓練



▲水防訓練

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujo@town.kotaj.g.jp